

慶應義塾大学病院漢方クリニック活動報告

部長 小川 聡
副部長 渡辺 賢治
客員教授 寺師 睦宗
常勤医 福澤 素子 (助教授)
山田 和男 (専任講師)
非常勤医 石井 弘一

平成14年4月から漢方薬の保険診療における長期投与が可能となりそれまで月平均1400名程度であった患者数は900名程度となった。これは月2回受診していた患者が月1回で済むようになったため、慶應病院内の他科の受診が殆ど月1回であることを考えると漢方薬の長期投与は概ね好感を持って受け入れられたものと考えられた。その後はまた徐々に増加傾向に転じている。診療においては総合病院であることを生かし他科との連携を強めることによって患者の治療範囲を広げる試みを行っている。

教育面においては、医学部講義で「東洋医学」10コマ(15時間)修士課程での16コマ(24時間)の選択講義に加え、平成14年度は第3学年を対象とした「基礎医学特論」の必修選択講義において10コマ(15時間)が加わった。平成14年度は20名の履修者がおり、漢方の基礎薬理学を中心に講義を行った。

平成14年11月には第1回市民講座を慶應義塾大学三田キャンパスにおいて行い、北島医学部長の挨拶に続き漢方クリニックの福澤、渡辺の他、漢方クリニックを以前担当していた水島広子衆議院議員の講演に910名が応募し、650名の参加者があった。

◇著書

- 1) 寺師睦宗：簡明 漢方の診療法・ジョミニーの兵衛と漢方
- 2) 福澤素子，他：入門漢方医学，・疾患と漢方，18 冷え症・虚弱体質・未病，日本東洋医学会 学術教育委員会編集，南山堂，2002
- 3) 渡辺賢治：電子カルテ時代の漢方療法 標準的内科診療録—電子化にどう対応するか—，日本内科学会 認定内科専門医会編集，2002

◇原著

- 1) T. Nakada, K. Watanabe, G-B. Jin, K. Triizuka and T. Hanawa : Effect of Ninjin-Youei-To on Th1/Th2 type cytokine

production in different mouse strains, American Journal of Chinese Medicine, 30, 65~74, 2002

- 2) T. Nakada, K. Watanabe, T. Matsumoto, K. Santa, K. Triizuka and T. Hanawa : Effect of orally administered Hochu-Ekki-to, a Japanese herbal medicine, on contact hypersensitivity caused by repeated application of antigen, International Immunopharmacology, 2, 901~911, 2002
- 3) G-B. Jin, K. Watanabe, T. Nakada, K. Santa, H. Kat, K. Toriizuka and T. Hanawa : The effects of Saiko-keishi-to and Juzen-taiho-to on Th1/Th2 balance in different age mice, Journal of Traditional Medicine J Trad Med, 19, 7~14, 2002
- 4) K. Miyaki, I. Takei, K. Watanabe, H. Nakashima, K. Watanabe and K. Omae : Novel statistical classification model of Type 2 Diabetes Mellitus patients for tailor-made prevention using data mining algorithm, Journal of Epidemiology, 12, 243~248, 2002
- 5) K. Yamada and S. Kanba : Herbal medicine (Kami-shoyo-san) in the treatment of premenstrual dysphoric disorder, Journal of Clinical Psychopharmacology, 22, 442, 2002
- 6) 山田和男，神庭重信，大西公夫，田 亮介，福澤素子，村田高明，寺師睦宗，浅井昌弘：“柴胡剂”投与による胸脇苦満の変化と生化学的・精神医学的検討，日本東洋医学雑誌，53, 47~54, 2002
- 7) 今津嘉宏，大山廉平，渡辺賢治，北島政樹：大腸癌治療における漢方薬，癌の臨床，48, 143~147, 2002
- 8) 今津嘉宏，細川友佳子，岡田慶吾，加藤賢一郎，須田一晴，米山公康，戸枝弘之，菊山成博，茂木克彦，大山廉平，村田高明，山田和男，福澤素子，渡辺賢治：大腸・直腸癌に対する漢方治療，Progress in Medicine, 22, 1344~1345, 2002

◇症例報告

- 1) 渡辺賢治，花輪壽彦：唾石散料（修琴堂経験方）により唾石の排石をした2例：漢方の臨

床, 49, 94~101, 2002

◇総 説

- 1) 福澤素子：大学での漢方医学卒前教育の実際—慶應義塾大学の試み—, 漢方と最新治療, 11, 233~236, 2002
- 2) 渡辺賢治：我が国における漢方医学の現状, 内科専門医会誌, 14(2), 169~172, 2002
- 3) 入江祥史, 渡辺賢治：functional dyspepsiaの漢方治療について, 内科専門医会誌, 14(2), 173~180, 2002
- 4) 入江祥史, 渡辺賢治：末梢神経障害の漢方治療について, 内科専門医会誌, 14(3), 433~437, 2002
- 5) 入江祥史, 渡辺賢治：感冒の漢方治療, 内科専門医会誌, 14(4), 636~641, 2002
- 6) 渡辺賢治：内分泌代謝・膠原病疾患と EBM Progress in Medicine, 22(9), 2111~2113, 2002
- 7) 渡辺賢治：内科学における代替医療の可能性, 治療, 84(1), 19~24, 2002
- 8) 山田和男：正しい不眠症治療とは—睡眠薬からの離脱—, Medical Postgraduates, 40, 150~154, 2002
- 9) 山田和男：精神分裂病治療における compliance, 臨床精神薬理, 5, 363~370, 2002
- 10) 山田和男：服薬遵守を高めるために, 精神科, 1, 20~25, 2002
- 11) 山田和男：身体表現性障害としての頭痛, ストレスと臨床, 13, 16~19, 2002
- 12) 山田和男：精神科領域と EBM Progress in Medicine, 22, 2137~2141, 2002
- 13) 山田和男：“人格障害”とは何か？ザ・クインテッセンス, 21, 2403~2412, 2002
- 14) 山田和男：慢性疼痛に対する漢方治療, 慢性疼痛, 21, 85~90, 2002

◇学会報告

- 1) 宮木幸一, 武井 泉, 渡辺賢治, 中島 宏, 渡辺清明, 大前和幸：データマイニングによる糖尿病患者の分類とそれに基づく合併症リスク評価および危険因子の順位付けについて, 第 12 回日本疫学会学術総会, 東京, 2002. 1
- 2) 山田和男：身体表現性障害と漢方, 教育講演, 第 38 回日本東洋心身医学研究会, 東京, 2002. 2
- 3) 山田和男：慢性疼痛に対する漢方治療～疼痛性障害 (DSM-IV) を中心として, シンポジウ

ム 5～漢方医学領域の視点から, 第 31 回日本慢性疼痛学会, 東京, 2002. 2

- 4) 山田和男：身体表現性障害の漢方, 教育講演 2, 平成 13 年度日本東洋医学会第 2 回東京都部会, 東京, 2002. 3
- 5) 山田和男, 田亮介, 八木剛平, 鹿島晴雄, 神庭重信：末梢血中のステロイドホルモン濃度と精神症状や QOL との相関 (第 2 報), 第 24 回日本生物学的精神医学会, 埼玉, 2002. 4
- 6) 福澤素子：生活習慣病における漢方治療, 日本東洋医学会学術講演会, 東京, 2002. 4
- 7) 山田和男：身体表現性障害とは何か？—その疼痛は, 本物の痛みですか？—, 口腔顔面痛懇談会第 3 回研究会学術セミナー, 福岡, 2002. 5
- 8) K. Watanabe, S. Schaefer and M Kitajima : Kampo Treatment through Lactation for Chronic Dermatitis of Infants, 26th World Congress of Internal Medicine, Kyoto, 2002. 5
- 9) S. Schaefer, M Kajimura, T. Hanawa, M Suematsu and K. Watanabe : Oxidative Stress in NO-Mediated Signaling in Experimental Diabetic Retinopathy, 26th World Congress of Internal Medicine, Kyoto, 2002. 5
- 10) 横田厚彦, 渡辺賢治, 等々力徹, 石橋みどり, 菊池春人, 中村肇, 淀井淳司, 武井泉, 渡邊清明：2 型糖尿病における血中チオレドキシンの意義, 第 45 回日本糖尿病学会, 東京, 2002. 5
- 11) 寺師睦宗：高プロラクチン血症を伴う不妊症, 第 53 回日本東洋医学会学術総会, 名古屋, 2002. 6
- 12) 山田和男, 田 亮介, 水島広子, 力石ちかよ, 大西公夫, 神庭重信：漢方治療による, 身体表現性障害の転帰と QOL (Quality of Life) の変化—第 2 報, 第 53 回日本東洋医学会学術総会, 名古屋, 2002. 6
- 13) 今津嘉宏, 山田和男, 田 亮介, 福澤素子, 村田高明, 石井弘一, 寺師睦宗, 神庭重信：6 ヶ月間の現代医学—漢方薬併用治療による患者の Quality of Life の変化—WHO-QOL-26 評価スケールによる調査, 第 53 回日本東洋医学会学術総会, 名古屋, 2002. 6
- 14) 田 亮介, 山田和男, 福澤素子, 村田高明, 石井弘一, 今津嘉宏, 寺師睦宗, 神庭重信：6 ヶ月間の漢方薬単独治療による患者の Quality of Life の変化—WHO-QOL-26 評価スケールによる調査, 第 53 回日本東洋医学会学術総会, 名古屋, 2002. 6

- 15) 山田和男：疼痛性障害（身体表現性障害）に対する抑肝散の使用経験，特別シンポジウム 2～病名投与にない漢方薬の思わぬ薬効，第 53 回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
 - 16) 福澤素子，山田和男，田 亮介：漢方治療による，アトピー性皮膚炎患者の転帰と QOL (Quality of Life)，第 53 回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
 - 17) 村岡 渡，井川雅子，大塚友乃，森 泰昌，池内 忍，山田和男：口腔外科受診患者の身体表現性障害の有病率および SSD (Screeener for Somatoform Disorder) の有用性について，第 15 回日本顎関節学会総会，東京，2002. 6
 - 18) 福澤素子：特別シンポジウム 2，病名投与にない漢方薬の思わぬ薬効，随証治療により，爪の変形，脱毛などに著効が得られた症例，第 53 回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
 - 19) 福澤素子：シンポジウム，領域科別卒後教育に関して一慶應義塾大学における教育，平成 14 年度日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会，横浜，2002
 - 20) 大倉多美子，福澤素子，伊藤公紀：皮膚インピーダンス法による各パラメーターにおける東洋および西洋医学的診断との相関関係，第 53 回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
 - 21) K. Yamada and S. Kanba : Herbal medicine (Kami-shoyo-san) in the treatment of PMDD, 12th World Congress of Psychiatry , Yokohama, 2002. 8
 - 22) K. Yamada, K. Yamauchi, K. Watanabe, G. Yagi, M Asai and S. Kanba : Noncompliance in outpatients with schizophrenia, 12th World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002. 8
 - 23) 寺師睦宗：第 5 頸椎破裂による右下肢・体幹知覚障害の男子不妊症，第 12 回漢方治療研究会，東京，2002. 9
 - 24) 石井弘一：睡眠障害に対する漢方治療，第 3 回山友会学術懇話会，東京，2002. 9
 - 木下訓光，石田浩之，福澤素子，大西祥平，山崎元：減量幅別に見た体組成，インスリン感受性，アディポサイトカインの変化，第 23 回日本肥満学会，京都，2002. 10
 - 26) 石井弘一：睡眠障害に対する漢方治療，第 3 回山友会学術懇話会，東京，2002. 6
 - 27) 山田和男，田 亮介，大西公夫，八木剛平，神庭重信：身体表現性障害患者に対する漢方治療の効果と QOL (Quality of Life) の変化，第 12 回日本臨床精神神経薬理学会，新潟，2002. 10
 - 28) 村松博，森田邦彦，渡辺賢治，谷川原祐介：漢方薬配糖体成分の吸収におよぼす抗生物質併用投与の影響，第 12 回日本医療薬学会，福岡，2002. 10
 - 29) 村松博，矢野一馬，新井賢，池谷修，山吉康子，早川智久，森田邦彦，渡辺賢治，谷川原祐介：抗生物質併用投与による漢方薬配糖体成分の体内動態変動とその対策，第 23 回日本臨床薬理学会年会，大阪，2002. 12
- ◇講 演
- 1) 寺師睦宗：傷寒論，九州漢方臨床研究会（福岡），2002. 4
 - 2) 寺師睦宗：類聚方広義，武雄漢方研究会（武雄），2002. 6
 - 3) 寺師睦宗：漢方常用処方解説，みちのく漢方研究会，盛岡，2002. 6
 - 4) 寺師睦宗：漢方医学，神戸漢方研究会，神戸，2002. 7
 - 5) 寺師睦宗：傷寒論，九州漢方臨床研究会，福岡，2002. 7
 - 6) 寺師睦宗：臨床金匱要略，鹿児島漢方研究会，鹿児島，2002. 8
 - 7) 寺師睦宗：漢方医学，えひめ漢方研究会，今治，2002. 8
 - 8) 寺師睦宗：漢方の診療法，名古屋漢方研究会，名古屋，2002. 9
 - 9) 寺師睦宗：臨床金匱要略，JPS 漢方特別講座，東京，2002. 9
 - 10) 寺師睦宗：類聚方広義，武雄漢方研究会，武雄，2002. 10
- 25) 勝川史憲，東宏一郎，小熊祐子，成田和穂，